
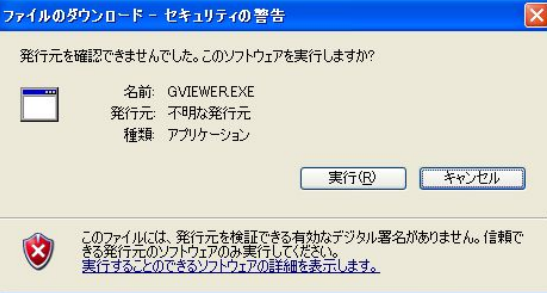


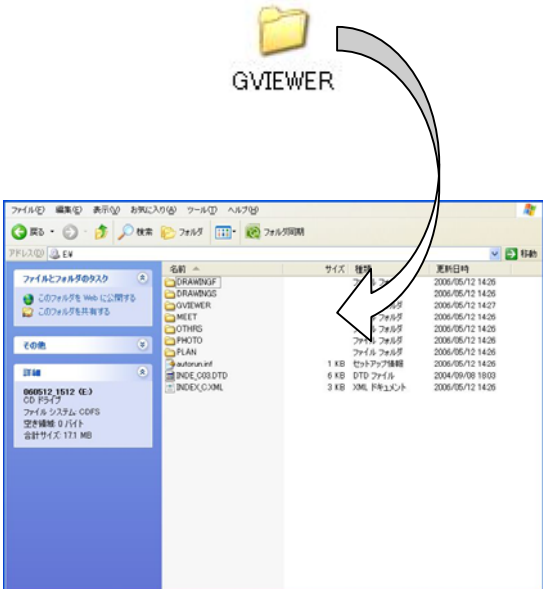


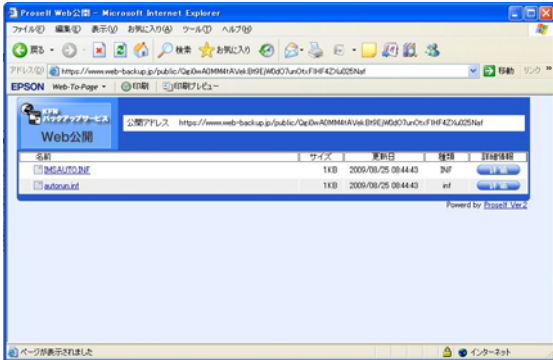

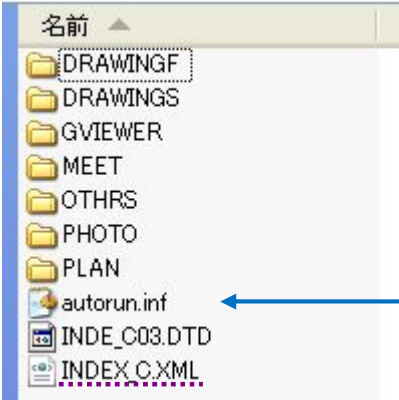


現場 VIEWER 自動実行設定方法

現場 VIEWER の自動実行をするための設定方法です。

操作画面	操作方法				
 <p>gviewer_free...</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GVIEWER.EXE</td> <td>ア</td> </tr> </tbody> </table>  <p>ファイルのダウンロード - セキュリティの警告</p> <p>発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか?</p> <p>名前: GVIEWER.EXE 発行元: 不明な発行元 種類: アプリケーション</p> <p>実行(R) キャンセル</p> <p>このファイルには、発行元を検証できる有効なデジタル署名がありません。信頼できる発行元のソフトウェアのみ実行してください。 実行することのできるソフトウェアの詳細を表示します。</p>  <p>現場VIEWER</p> <p>インストールするフォルダ(D): "C:\Users\Administrator\Desktop#gviewer_... 参照(B)...</p> <p><input type="checkbox"/> スタートメニューに登録(S) <input type="checkbox"/> 全てのユーザが使用(U) <input type="checkbox"/> 関連付け(A)</p> <p>OK(O) キャンセル(C)</p>  <p>GVIEWER ファイル フォルダ</p>	名前	種	GVIEWER.EXE	ア	<ol style="list-style-type: none"> 「現場 VIEWER」をダウンロードすると、左のアイコンが表示されます。圧縮がされているのでダブルクリックで解凍します。 更に自己解凍ファイルになっていますのでダブルクリックします。 ファイルのダウンロードダイアログが表示されますので、「実行」をクリックして下さい。 左図が表示されるので、「参照」でデスクトップを選択し、「OK」をクリックして下さい。 ダウンロードが終了すると、左図の GVIEWER フォルダが表示されます。
名前	種				
GVIEWER.EXE	ア				

操作画面	操作方法
	<p>6. 作成した Madia ファイルの中に GVIEWER ファイルを格納して下さい。</p> <p>次は、現場 VIEWER を自動実行する為のファイルのダウンロード方法についてご案内します。</p> 
	<p>7. 現場ポータルを立ち上げて下さい。</p> <p>8. 「便利リンク」ボタンをクリックすると、右側に目次が出るので、その中の「その他マニュアル」をクリックして下さい。</p> <p>9. 設定ファイルの格納場所 URL をクリックして下さい。 PASS WORD は「viewer」です。 左図の画面が表示されます。</p>
	<p>10. ファイルの名前をクリックすると、ファイルのダウンロードダイアログ画面が表示されますので、それぞれデスクトップに保存して下さい。</p>

操作画面	操作方法
 <p>IMSAUTO.INF</p> <p>autorun.inf</p>  <p>名前 ▲</p> <ul style="list-style-type: none"> DRAWINGF DRAWINGS GVIEWER MEET OTHR PHOTO PLAN autorun.inf INDE_C03.DTD INDEX_C.XML  <p>名前 ▲</p> <ul style="list-style-type: none"> CONFIG DATA IMSUSER IK5COM.DLL IK5EFFEC.DLL IK5FILE.DLL IK5JPEG.DLL IK5PNG.DLL IK5PRINT.DLL IK5TIFF.DLL IMS.exe IMSAUTO.INF 	<p>11. 【autorun.inf】【IMSAUTO.INF】の保存が終了すると、左図のアイコンが表示されます。</p> <p>【autorun.inf】 作成した Madia ファイルの、<u>INDEX_C.XML</u>と同階層に格納してください。</p>  <p>autorun.inf</p> <p>【IMSAUTO.INF】 Madia ファイルの中に格納した、GVIEWER を開くと、左図のようになっています。 この中に IMSAUTO.INF を格納して下さい。</p>  <p>IMSAUTO.INF</p> <p>以上で現場 VIEWER の自動実行設定は終わりです。</p>

現場 VIEWER の自動再生

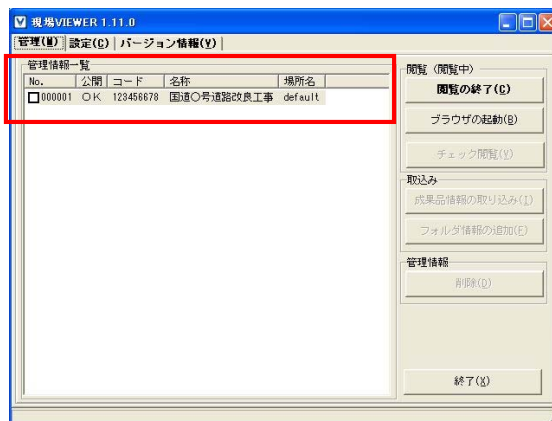
CDに成果品データを書き込む前にご確認ください

GVIEWER のフォルダを開き、その中の IMS.exe をクリックして下さい。
下図の画面が表示されます。

CD に成果品データを書き込む前に、成果品情報の読み込みは行わないで下さい。



下図のように、管理情報一覧に成果品情報があると、データは表示しないことがあります。



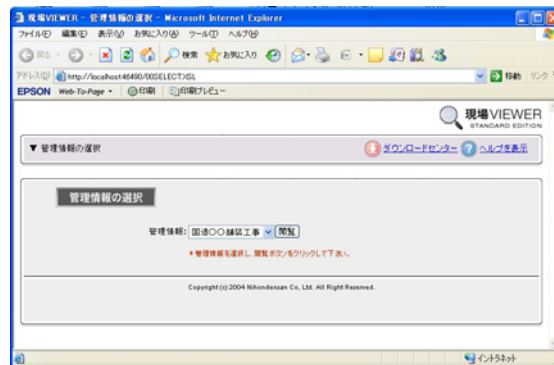
その時は、現場情報を選択し、閲覧（閲覧中）の「閲覧終了」をクリックして下さい。管理情報の成果品情報の「削除」をクリックして、削除してから以下の作業を行って下さい。

現場 VIEWER の自動再生

上記の確認ができましたら、Madia ファイルを CD 等に作成して下さい。
作成できましたら、マイコンピュータで作成したメディアを右クリックし、自動再生を選択して下さい。



現場 VIEWER が自動立ち上がり、以下の画面が表示されます。



とても便利な機能ですので、ぜひ
ご活用下さい！

